

## 平成30年度第3回大崎市入札・契約制度監視会議 議事概要

### 1 開催日時, 場所

- (1) 日 時 平成30年11月22日(木) 午後1時30分から午後3時20分まで
- (2) 場 所 大崎市役所 東庁舎5階 大会議室

### 2 出席者等

- 徳 永 幸 之 (宮城大学 事業構想学部 教授)
- 今 野 勝 之 (弁護士)
- 畠 山 哲 治 (国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所契約事務管理官)

### 3 議題

- (1) 職員アンケートについて
- (2) 入札・契約事務検討会議における検討項目について
  - ・非公開情報の取り扱いについて
  - ・チェック体制の強化について
  - ・職員教育(コンプライアンス)について
- (3) 業者アンケート及びヒアリングについて

### 4 審議の内容

- (1) 職員アンケートについて
  - アンケート調査の結果概要の説明
- (2) 入札・契約事務検討会議における検討項目について
  - ・非公開情報の取り扱いについて
  - ・チェック体制の強化について
  - ・職員教育(コンプライアンス)について
  - 上記3項目について, それぞれの課題と対応方針(案)の説明
- (3) 業者アンケート及びヒアリングについて
  - 業者アンケートは, 監視会議委員で事前に実施方針について了承頂き, 実施中である旨の報告。業者ヒアリングは, 対象者及び対象案件並びに質問項目の考え方及び具体的内容について, 事務局案で実施することが了承された。

## 5 主な意見

- 職員アンケートについて、回収率が90%超と非常に高いことを評価。なお、入札契約の起案（起工）をしたことがある人となない人に分けて分析してはどうか。また、結果は単純集計のみならず自由記述の分析をしっかりと行うべき。特に、起工決裁は設計内容だけと、設計価格・積算の決裁とに分けることを基本に検討すべき。
- 非公開情報の取り扱いについて、他者の目に触れる危険性を減らすような情報の徹底管理に取り組むべき。また、電子入札の導入は、談合防止に資するほか、ペーパーレス化や電子契約をする場合は印紙税も不要になるなど非常に有効。
- チェック体制の強化について、チェック機関それぞれの役割について今一度整理すべき。また、入札手続中と事後の両方において監視されているという認識を持ってもらえる制度設計が重要。なお、談合疑義案件に対するチェックの導入は、制度環境上難しい面もあると思うが、是非取り組むべき。
- コンプライアンス研修については、現状の回数が非常に少ない。新規研修を含め増加充実を図るべき。その際、職員のキャリアパスにおいて、繰り返しの実施や抜けがないような研修制度の整備を行うべき。
- 業者ヒアリングの対象者については、企業数等のバランスを考慮し、予定価格又は最低制限価格に近接している企業として、0.1%以内を対象に実施することで良い。
- 県内他市町村と比較しても今回提示の対応案は先駆的であり、その取り組みを評価。
- やりやすいことだけでなく、やるべきことをやるとの姿勢で取り組んで欲しい。